米國

一、紐育「イーヴニング、ポスト」（二十五日）

日本ノ聯盟委員會上海撤兵決議案ニ反對ノ理由ハ蓋シ右案カ支那排日「ボイコット」禁止ヲ保障スルコトナクシテ先ツ日本ノ撤兵ヲ要求シ、其上海攻撃ノ正當ナラサリシヲ暗示シ居レルカ爲、日本軍隊カ自ラハ今日私ニ之ヲ悲劇的失策ナリト認メ居ルニ拘ハラス外部ニ對スル面目保持上聯盟ノ此措置ニ反對セント決心シ居ルコト及聯盟ハ其威信ヲ强メンカ爲極東ノ實情ヲ無視シツツアルモノト信シ居レルコトニ在リ。而シテ右第二ノ理由ハ右委員會カ小國ニ支配セラレ居ル點ニ於テ大体正當ナルモ、右決議案ハ既ニ小國ノ提案ヲ大ニ緩和シ、撤兵ヲ支那ニ關係深キ大國ノ現地代表者ノ多數決ニ任スコトトナレルヲ以テ、彼等ハ聯盟ノ理論的觀念ヨリモ實際的考慮ニ重キヲ置クコト確ニシテ日本ノ懷クカ如キ心配ナカラン。

二、紐育「サン」（二十六日）

先般大阪ニ於ケル荒木陸相ノ演説ニ論及シ左ノ通述ヘタリ。

其傍若無人的且非妥協的言句ハ從來日本政府ノ所謂「スポークスマン」ノ說明カ常ニ日本政策ノ事實上ノ發展ト齟齬シタルトハ異ナリ、滿洲ニ於テハ聯盟委員附支那官吏ノ入國ヲ拒絶シ上海ニ於テハ撤兵ヲ延期シツツアル日本ノ政策ト全ク符合セルモノナリ。

三、「シャトル、スター」（二十八日）

日露間何故ニ戰爭セサルヘカラサルヤ之ヲ了解スルコト困難ナレトモ戰爭ハ何等ノ理由無クシテ起ルモノニ非ス又兩國共ニ戰爭ヲ爲ス餘裕（有リヤ吾人ノ不思議トスル處ナルモ、支拂能力ノ有無ハ破壞ヲ志ス國民ヲ止ムル能ハサルナリ。

露國ハ少數團体ノ支配スル處ニシテ其ノ權力ハ五ケ年計畫ノ成否如何ニ懸リ居ルカ故ニ、同計畫ニシテ失敗シ居レリトセンカ日本ノ攻擊ニ藉口シテ動員ヲ行ヒ人心ヲ外ニ轉セントスルハ有リ得ヘキコトナリ。又日本ハ軍閥ノ支配スル處ニシテ國民ハ最近巨額ノ軍費ヲ支拂ヒ殆ト破產ニ瀕シ居レト軍閥ハ進ミ過キテ退ツ引ナラ

ヌ立場ニ在ルカ如シ。彼等ハ進捗ヲ顧慮スルノミニテ國民ニ對ス
ル結果如何ハ顧ミサルナリ。
日露開戰スヘキ何等ノ理由ナキモ世界ハ不安ノ現狀ニ於テハ何事
モ解ラヌモノナリ。

四、露國承認問題ニ關スル新聞論調ハ「スクリップス、ハワード」系ヲ除キ概シテ反對ニ傾キ最近現レタル主ナルモノノ要旨左ノ通リ

(イ)華府「ポスト」(二十四日)

「ロビンソン」及「レイニー」ノ如キ有力民主黨議員カ承認贊成ノ意見ヲ發表シタルハ驚クヘキコトナルカ、其動機ノ一トシテ日本ノ侵略阻止云々ノ說アルモ斯ル說ハ米國ヲ侮辱スルモノナリ。又其ノ二トシテ通商上新販路獲得云々ノ說アルモ、右ハ安價ナル露國品殺到ノ結果米國內ノ產業殊ニ農業カ大打擊ヲ受クルコトヲ忘却セル自殺的主張ナリ。

(ロ)「ボルチモア、サン」(二十五日)

「ハイラム、ジョンソン」ハ露國トノ正規經濟關係恢復ノ有利ナルコトヲ强調スル傍、承認カ日本ノ露國侵略ヲ阻止シ極東ノ戰禍ヲ防止スヘシト云ヘルカ、過去十年間米國ノ「オールド、ワード、デイプロマシー」參加ニ極力反對シ來レル彼カ今更外國同志ヲ張合ハセントスルカ如キ舊式外交ノ最惡ノ形式ヲ唱道

スルハ如何ナル次第ナリヤ、或ハ「カリフオルニア」ノ排日氣運ニ屈服セルモノカ。

(ハ)「ボルチモア、イーヴニング、サン」(二十四日)

議會方面ニ承認贊成論ノ擡頭シ來レルコトハ疑ノ餘地ナキ處其理由ハ新販路ヲ開拓シ米國產業恢復ノ一助ト爲スヘシト云フニ歸ス。今ヤ露國承認問題ハ空漠タル道德論ノ域ヲ脫シテ現實經濟問題ノ範圍ニ入リ來レルモノト云フヘシ。

(ニ)「ウオール、ストリート、ジヤーナル」(二十七日)

「ジヨンソン」「レイニー」等ハ經濟不況打開ノ一策トシテ露國承認ヲ唱道シ居ル處、露國ト外交關係ヲ設定シタリトテ對露輸出增加スヘシトハ限ラス、要スルニ英國等ノ例ニ鑑ミ承認ニ對スル最後ノ難關ハ赤化宣傳問題ナリ。

日支事變ニ關スル歐米新聞論調（一二三）

外務省情報部

五月三日

支社長 庶務課長 調査係

目次

英國

一、倫敦「タイムス」、、、、、、若シ日本カ爆彈事件ニ關シ激昂ノ餘リ上海ノ平和回復ヲ遲滯セシムルトセハ夫ハ賢明ニアラス。

二、「デーリー、テレグラフ」、吾人ハ當局官憲カ過去數ケ月ニ亘レル平和的努力ヲ無效ナラシメサルヤウ希望ス。

三、「マンチエスター、ガーディアン」、、日本ハ今回ノ爆彈事件ニ關シ上海ニ於ケル支那人ヲ罰スルノ理由無シ。

四、「デーリー、エキスプレス」、日本ハ爆彈事件ノ爲日支紛爭ノ平和的解決ヲ阻ムコトナカルヘシ。

佛國

一、「タン」、、、、、、、、、日本國民カ内憂外患ニ直面シ神經過敏ニ傾キ居ル際發生セル今回ノ凶變ハ日本國論ヲ極度ニ昂奮セシムル虞アリ。

二、「ジュルナル」、、、、、、今回ノ凶變ハ在上海日本人カ重大ナル危險ニ曝サレ居ルノ事實ヲ示スモノナリ。

英國

一、倫敦「タイムス」

上海爆彈事件カ日支停戰取極ヲ阻止セントノ動機ヨリ企圖セラレタリトセハ夫ハ失敗ニ終レリト言フヘシ。何トナレハ日本ハ同取極ヲ成立セシメントスル其ノ政策ヲ變更スヘシトノ意思ヲ聲明シ居ラサレハナリ。日本カ此ノ賢明ニシテ威嚴アル態度ヲ維持セハ日本ニ對スル英國及諸國ノ同情ハ一層大ナルヘキモ、若シ日本カ激昂ノ餘リ上海ニ於ケル平靜ノ回復ヲ遲滯セシムルナラハ夫ハ賢明ニ非サルヘシ。

二、「デーリー、テレグラフ」

爆彈事件ハ將ニ調印セラレントスル日支停戰取極成立ヲ妨クル本トナルヘキ虞アルモ、吾人ハ過去數ケ月ニ亘レル平和的努力ヲ無效ナラシメサル樣當局官憲カ全力ヲ盡サンコトヲ希望シテ已マス。

三、「マンチエスター、ガーデイアン」

日本カ今回ノ殺人的暴擧ニ對シ憤激スヘキハ吾人之ヲ充分諒トス

ルモ、其ノ爲上海ニ於ケル支那人ヲ罰セントスル理由無シ、彼等ハ既ニ日本ノ手ニ依リ迫害ヲ蒙リ居レリ。

四「デーリー、エツキスプレス」

一國民カ其ノ冷靜ト偉大サヲ示シ得ルハ今回ノ如キ事件ノ發生セル場合ニシテ、日本ハ大國ナルカ故ニ右事件ノ爲日支紛爭ノ平和的解決ヲ阻ムコトナカルヘシ。

佛國

「、「タン」」

今回ノ凶變ハ日支關係紛糾セル折柄變方官憲ノ責任問題ヲ惹起スル如キ狀況ノ下ニ起リタルモノニシテ、若シ黑幕ニ支那人ノ加ハリ居ルカ如キ事アラハ其ノ反響ハ重大ナルモノアル可ク、一刻モ早ク眞相ノ判明セン事及何人モ冷靜ヲ保タン事望マシ。今日日本ニ於テハ軍部ノ勢力强大ニシテ、又國民ハ內憂外患ニ直面シ神經過敏ニ傾キ犬養內閣ノ責務困難ナル折柄發生セル今回ノ凶變ハ日本國論ヲ極度ニ昂奮ニ導ク虞アリ。若シ東京筋情報ノ傳フル如ク日本政府カ此際支那政府ノ責任問題ヲ提起スル意嚮無クハ停戰取極ノ調印ハ單ニ數日遲ルルノミニテ事件ノ解決カ再ヒ蒸返サルル事無カル可ク、右ハ世人ノ均シク希望スル處ナリ。蓋シ日本ハ上海ニ於テハ列國同樣ノ利益ヲ有スルモノニシテ滿洲ニ於ケルカ如キ重大ナル權益ヲ有スルモノニ非サレハ事件ノ發展ニ伴ヒ思ハヌ深入ヲ爲セル上海ノ危機ヲ玆ニ一掃スル事眞

ニ其ノ利益ナルヘシ。他方滿洲ノ事態ハ眞ニ憂フヘキモノアリ、一部新聞報道ハ日蘇關係緊張ヲ傳ヘ米國ノ或種分子カ莫斯科ヲ使嗾シ居ルヤニ觀察スル向モアリ、然レトモ蘇側ハ内的崩壞ヲ恐レ敢テ强大ナル日本ト兵力紛爭ヲ爲スノ決意無カル可ク、之ト同時ニ日本ハ財政經濟ノ改善ニ愼重留意シ、南滿ニ獲得セル地歩ヲ固ムルニ努力セサル可カラサル秋ナリ。之等ノ事實ヲ綜合スルニ結局日本ハ最モ肝要ナル精計ヲ以テ上海事件ノ解決ニ努力スルモノト思ハル。

三、「ジユルナル」

今回ノ凶變ハ在上海日本人カ重大ナル危險ニ曝サレ居ルノ事實ヲ示シタルモノニシテ、素ヨリ日本軍隊ノ駐屯セサレハ觀兵式モ行ハレス從テ事件モ起ラサリシモノナルヘシト言ヒ得可キモ、上海ニハ日本軍ノ外英、米、佛、伊ノ相當多數兵力駐屯シツツアリ、之等外國軍隊ノ常駐ハ支那ノ現狀ニ於テハ外國人ノ保護ノ爲メ緊急不可決ヲ認メラレ居リ日本ノ上海出兵モ廣ク駐屯軍問題ノ一部ヲ爲スモノト云フ可シ。

日支事變ニ關スル歐米新聞論調（一二四）

外務省情報部

五月四日

目次

米國

一、「クリスチヤン、サイエンス、モニター」、、日本ノ無條件撤兵カ正當ナリヤ否ヤ疑アリ。

二、紐育「サン」

三、紐育「イーヴニング、ポスト」、、、、、上海ノ爆彈事件ハ暗殺カ日本政爭ノ武器ト爲リツツアル怖ルヘキ實例ナリ。

四、羅府「タイムス」、、、、、、、、日本軍カ支那軍ヲ撃破セル後直ニ上海ヲ撤退シタルハ西洋ニ於ケル支那同情者ニ難問ヲ提シタリ。

米國

一、「クリスチヤン、サイエンス、モニター」（四月三十日）

上海交渉ニ於テ支那側ハ体面上其戰勝者タル事ヲ保證セサル協約ノ締結ニ反對シ居ルモ、日本ノ無條件撤兵ハ正當ナリヤ否ヤ疑有リ、蓋シ同地ノ平和回復ハ事態ヲ一月廿八日以前ノ現狀ヨリモ上海市長カ排日運動取締ノ約束ヲ與ヘタル同日午後三時ノ夫レニ復舊スル事ニ依リ初メテ達成セラレ得ルモノニシテ、其他ノ條件ニ依ル協約ハ單ニ交戰狀態ヲ復活スルニ過キサルヘク、今日幸ヒ英國公使ノ斡旋ニ依リ日支雙方ノ妥協成立セントスルヲ以テ聯盟ニ於テモ亦日本カ戰勝ノ利益ヲ放棄シ居ルニ鑑ミ何等日本ニ對シ強制カマシキ事ヲ爲ス可カラス。

二、紐育「サン」（四月三十日）

最近英國商務院總裁「ランシマン」カ下院ニ於テ支那トノ現存條約ハ滿洲ニモ適用セラルヘク、現在滿洲トノ特殊貿易關係問題ヲ考慮スル必要無シト述ヘタルハ英國ノ政策カ一月七日國務長官ノ

聲明ト一致スルモノナル事ヲ示セリ。

三、紐育「イーヴニング、ポスト」（四月三十日）

上海ノ爆彈事件ハ暗殺カ日本政爭ノ武器ト爲リツツアル怖ルヘキ實例ナリ。日本内ニ於テ國粹主義者カ要人ヲ暗殺シ又ハ暗殺計畫ヲ爲シ居ル際日本軍閥ノ敵カ同樣卑怯ナル手段ニ訴フルハ驚クニ足ラス。又右事件ハ朝鮮人中ニ日鮮合併ニ反對スル强大ナル團体有ル事ヲ示スモノニシテ、果シテ日本ハ今日滿洲ヲ朝鮮同樣ニ待遇シテ東洋ノ平和ヲ保持シ得ト豫期シ居レリヤ甚タ了解ニ苦シム。

四羅府「タイムス」「フレツド、ホーグ」論説（四月三十日）

目下世間ハ聯盟調査員カ日支問題ノ事實調査ニ餘リニ時日ヲ要スルニ對シ焦慮シ居ルモ、彼等調査員ハ最後ノ判決ヲ下ス前ニ極東事情ノ充分ナル認識ヲ得ントヲ努力シ居ルコトヲ知ラサルヘカラス。日本カ支那軍ヲ擊破セル後直チニ上海ヲ撤退シ、何故ニ南京、北平ノ攻擊ヲ敢テセサリシカハ西洋ニ於ケル支那同情者ニ對シ難問ヲ提シタリ。一方日本ノ上海撤退ハ日本ヲ以テ友好國ト目シ日本人ヲ以テ文明國民ト觀ル人々ノ信用ヲ回復スルニ效アリタリ。吾人ハ日支戰亂終熄スルヤ直チニ支那カ其ノ得意ノ道樂タル內亂ヲ開始シ極東ハ再ヒ悲シムヘキ舊狀ニ復シタルヲ注目スヘシ、卽チ支那ニハ共產派ト國民派トノ內爭始マレリ。結局支那人カ最後ノ一人トナル迄支那ニ內爭ノ已ム時ナキカ如シ。

極東ノ政情ヲ解剖スル者ハ日本軍カ太平洋ニ向ヒ東進シツツアル共產主義ノ脅威ニ對シ唯一ノ障壁ナルコトヲ知リ得ヘシ、日本ノ障壁無カリシナラハ今ヤ滿蒙ハ全部共產露國ノ領ナリシナラム。

日本ハ吾人ト同等ノ高キ理想ヲ有スル文明ノ防護ノ奮闘ノ爲批難サルヘキヤ、此ノ防護ヲ弱ムルコト果シテ吾人ノ國家的、社會的利益ナリヤ、上海十九路軍ノ如キモ實ハ共産軍ニ外ナラサルナリ。斯カル事實ハ聯盟ノ事實調査員ニ取リ極メテ明白ナリ、彼等ノ直面スル問題ハ巴里ヤ壽府ニ於テ想像スルモノト頗ル相違セルモノナリ。

要スルニ極東ニ於ケル西洋文明ノ擁護者ヲ批難スルハ共産主義者ノ術策ニ陷ルモノト謂ハサルヘカラス。

注。

意。

五月三日附第一二三號所載論調ハ各紙共四月三十日ノモノナリ

日支事變ニ關スル歐米新聞論調（一二五）

外務省情報部

五月七日

目次

國

下院ニ於ケル質問應答

國

一、費府「パブリツク、レツヂヤー」、、上海ノ事態ハ日本カ著々日貨排斥絶滅ノ目的ヲ達シ居ルコトヲ示セリ。

二、「ボルチモーア、サン」、、、日本ハ世界ノ銀行家間ニ信用ヲ失ヒ其武力ニ對スル聲價ハ傷ケラレタリ。

三、「ヘラルド、トリビユーン」、、、日支停戰協定ニシテ實施セラレンカ上海方面ノ平和ハ回復シ米國人ノ關スル限リ事件ハ終了スヘシ

四、華府「ポスト」、、、、、、、日本ハ支那侵略ノ結果外ハ最重要ナル市場ヲ失ヒ内ハ國庫ノ窮乏ヲ來シ加之幾多ノ國内的難問ニ遭遇セリ。

五、「キヤツスル」國務次官演説

支社長 庶務課長 調査係

英國

下院ニ於ケル質問應答

四日下院ニ於テ「ランズベリー」ヨリ聯盟ニ於ケル上海日支停戰交涉問題審議ノ模樣ニ付質問アリタルニ對シ、外相ハ大要左ノ如ク答ヘタリ。

四月三十日開催ノ聯盟臨時總會ニ於テ上海日支停戰取極案ニ關スル決議ヲ採擇セリ。停戰取極案ニ於テハ日本政府ハ一月二十八日ノ事變前ニ於ケルカ如ク共同租界及虹口方面ニ在ル租界外擴張道路ニ撤兵スヘキコトヲ規定シアルヲ以テ、右聯盟決議ニ於テハ日本軍隊カ停戰取極ノ定ムル處ニ從ヒ、其撤收ヲ完了シタル時初メテ三月四日ノ決議カ遵行セラレタルモノト認ムル旨聲明シ居レリ。停戰取極案ハ取極ノ實行ヲ監視シ、日支兩軍ノ撤收ヲ確認スル爲及撤收スヘキ日本軍ヨリ之ニ代ハル支那警察ヘノ引繼問題ニ協力セシムル爲友好國代表ヲモ含ム共同委員會ヲ設定スヘキコトヲ定メ、共同委員會ノ權限中ニハ取極ノ規定實行怠慢ニ對シ注意ヲ喚

起スルコトヲ得ルコトモ包含シ居レリ。又委員會ノ決定手續ニ付テハ聯盟總會ニ於テ議長「イーマンス」氏ノ指摘セル如ク全員一致ノ方法ニ依ルコト吾人ノ希望スル處ナリシモ、取極ニハ多數決ニ依リ且必要ニ應シ議長カ採決權ヲ有スルコトトナリ居レリ。本件取極調印ハ遠カラス行ハルヘク、自分ハ其報道ヲ希望ヲ以テ待チツツアル次第ナリ云々。

米國

一、費府「パブリック、レッヂヤー」（四月二十八日）

上海ノ事態ハ日本カ著々日貨排斥絶滅ノ目的ヲ達シ居ルコトヲ示セリ。

素ヨリ南京政府ハ支那個人ノ「ボイコツト」ヲ抑壓シ得サルモ日貨排斥運動ニ對スル「オフイシアル、サンクシヨン」ヲ撤回シ得ヘシ。「ボイコツト」ハ危險ナル武器ニシテ殊ニ之カ強制ヲ無責任ナル者ニ任セル場合ニ於テ然リ、素ヨリ「ボイコツト」ハ上海ニ於ケル日本ノ武力行使ヲ是認スルモノニアラサルモ、此ノ際支那ノ「ボイコツト」件數カ根絶セラルルトセハ一般外國人ノ對支取引ハ遙ニ容易トナルヘキハ疑ナシ。

二、「ボルチモーア、サン」（一日）

今回ノ事件ノ爲日本ハ世界銀行家間ニ信用ヲ失ヒ其武力ニ對スル聲價ハ傷ケラレ國內不安事故增大セリ、從テ長キ間ニハ日本人間ニ穩健ナル對外方針ヲ持スル方結局得策ナリトノ考カ擡頭シ來ルヘシ。

三、「ヘラルド、トリビューン」（一日）

日本カ爆彈事件ニ拘ハラス停戰交涉續行ニ決セルハ洵ニ正シク、該事件ヲ評價セルモノナリ。日本ハ上海地方ニ占據スル口實ヲ求メントセス、又有ラユル階級ノ日本人ハ上海問題ノ打切ヲ欲シ居ルニ拘ハラス聯盟ニ於ケル小國ハ頻ニ餘計ナ策動ヲ爲セルカ、今ヤ大國ノ努力ニ依リ彼等ノ野心ハ水泡ニ歸シ最近ノ總會決議ヲ見ルニ至リタルハ滿足ナリ。

同紙（三日）

上海停戰條件中最興味アルハ日本カ撤兵條件ヲ受諾セル點ニシテ、蓋シ日本陸軍省ニ於テ上海事件ヲ不可トシ速ニ撤兵ヲ希望シ居リ、日本輿論亦同樣ナルコトハ日本ヲシテ斯ル態度ヲ執ラシメタルニ與ツテ力アルヘシ。協定ニシテ實施セラルル曉ハ上海方面ノ平和回復シ米國人一般ノ關スル限リ事件ハ終了スヘシ。

四、華府「ポスト」（四日）

滿洲及上海ニ於ケル日本ノ行動ハ同國カ過去ニ於テ爲クヘキ近代

化セルニモ拘ハラス未タ以テ會得セサル何物カノ存スルコトヲ示スモノニシテ、殊ニ日本ハ帝國主義的征服カ最早世界ノ承認スル原則ニアラサルコトヲ悟ラス、日本ハ支那侵略ノ結果外ハ最重要ナル市場ヲ失ヒ内ハ國庫ノ窮乏ヲ來シ加フルニ幾多ノ國内的難問ニ遭遇セリ。五月一日ノ犬養首相「ラヂオ」演説ハ克ク這般ノ消息ヲ語ルモノニシテ武力ニ依リ支那ニ通商ト友誼トヲ強ヒ得サルコトハ今ヤ日本ニ明瞭ナル筈ナリ。

「キヤツスル」國務次官ノ演説

四日「キヤツスル」國務次官ハ「アメリカン、ピース、ソサイテイー」ノ主催ニ懸ル「アメリカン、コンフエレンス、オン、インターナショナル、チヤステイス」ノ席上、曩ニ日支兩國ニ與ヘタル「スチムソン」長官公文及「ボラー」宛同長官書翰中ニ表明セラレタル米國政府ノ政策ニ關シ、左ノ趣旨ノ演説ヲ爲セルカ「ボイコツト」反對ノ點一般ノ注意ヲ惹ケリ。

「ケロツグ、パクト」ハ聯盟規約ト異リ制裁規定ヲ缺ク、之レ

同條約ニ對スル非難ノ主タル理由ナルカ強制力ヲ持タシメタル方法トシテ、侵略國ニ對シ戰爭ヲ爲スノ義務ヲ負ハシムル一條ヲ該條約ニ追加スヘシトノ主張ハ「アグレツサー」ノ決定至難ナルト米國トシテ斯ル重大決定ヲ聯盟又ハ國際裁判所ニ委ヌルコトヲ得サル爲之ヲ採用スルコトヲ得ス。

次ニ米國政府ニ於テ違反國ニ對シ通商斷絶ヲ宣スヘシトノ主張ハ主トシテ斯ル「オフイシヤル、ボイコツト」（米國個人ノ自發的ニ行フ「インフオーマル、ボイコツト」ハ別問題トス）カ戰爭ヲ誘發スルコト殆ト確實ナルカ故ニ之亦使用シ難シ。茲ニ於テ大統領ハ戰爭ノ收穫ヲ無價値ナラシムルコトカ武力ノ使用ヲ阻止スル有力方法ナルヲ感知シ、「ケロッグ、パクト」違反國ノ得タル領土的收穫ヲ認メスト爲ス國際法上ノ「ニユー、デイクタム」ヲ生セシメタル次第ナリ。

右「フーバー」大統領ニ依リ「インスパイアー」セラレタル「ニユー、アメリカン、ドクトリン」ハ一月八日國務長官公文中

ニ始メテ表明セラレ、次テ二十三日「ボーラー」宛同長官書翰中ニ敷衍セラレ、更ニ三月十一日聯盟ニ依リ是認セラレタリ。此ノ所謂「フーバー、ドクトリン」ハ不戦條約ニ強制力ヲ與ヘ而モ戦争ヲ誘發スルノ虞ナキモノニシテ國際法ノ一柱石タルヘキモノナリ。

日支事變ニ關スル歐米新聞論調（一二六）

外務省情報部

五月九日

東京支社 7.5.10 庶務課長

支社長 庶務課長 調査係

目次

英國
一、下院ニ於ケル質問應答
二、倫敦「タイムス」、、、、日支停戰協定ハ「ランプソン」公使及「サイモン」外相ノ巧妙ニシテ倦マサル斡旋ニ依ル所大ナリ。
三、「デイーリー、テレグラフ」、、上海共同租界ノ保全、在支外人生命財産ノ安全及右ニ對スル支那政府ノ責任問題ハ日支兩國カ誠意ヲ以テ交渉ニ努力セハ滿足ナル解決ヲ得ヘシ。
佛國
「タン」、、、、、、、、停戰協定ノ成立ニ依リ上海事件カ事實上解決シタルハ凡ユル方面ヨリ觀テ慶賀ニ値ス。
希臘
「ボリチヤ」、「プロイア」
露國
聯盟支那調査委員會ニ對スル情報供給問題

米國

一、紐育「タイムス」、、、、上海事件ハ日本ニ取リ甚タ不手際ニシテ併モ高價ナルモノナリキ。

二、「ヘラルド、トリビューン」

三、市俄古「デイーリー、ニュース」、、日支停戰協定成立セリト雖モ未タ之ヲ以テ事變解決セリト爲スヲ得ス。

四、「クリステヤン、サイエンス、モニター」、上海事件ハ米國ト聯盟ノ協調不充分ナリシコトヲ證明セリ。

五、紐育「イーヴニング、ポスト」、、、日本ハ上海ニ關心ヲ有セス一ニ滿洲ノ支配ヲ目的トシ居ルモノナリ。

六、紐育「サン」

七、「キヤツスル」國務次官ノ「スチムソン」聲明支持問題

(イ)紐育「サン」

(ロ)紐育「イーヴニング、ポスト」

在支外紙

「チヤイナ、プレス」、上海「イーヴニング、ポスト」

英國

一、下院ニ於ケル質問應答

五日下院ニ於テ「ランズベリー」ヨリ上海交渉其ノ後ノ模様ニ付質問アリタルニ對シ、外相ハ「本五日正午本件日支間取極ノ調印ヲ了シタルコトヲ玆ニ報告シ得ルハ余ノ欣幸トスル處ナリ。」「ランブソン」氏カ佛、伊、米各國代表者ト協力シ、終始多大ノ努力ヲ拂ヒタル結果日支間ニ協定ノ成立ヲ見タルハ同慶ノ至ナリ云々」ト答ヘタリ。

二、倫敦「タイムス」（六日）

上海交渉ノ決裂ヲ防キ得タルハ其ノ任ニ當リタル日支直接責任者努力ノ結果ナルコト勿論ナルカ、一時絶望ト思ハレタル協定カ遂ニ成立スルニ至リタルハ現地ニ於ケル「ラムブソン」公使ト蔣府ニ於ケル「サイモン」外相ノ巧妙ニシテ倦マサル斡旋ニ依ル處大ナルモノアリ、同協定カ遵奉セラルル時ハ上海市ノ商業ハ將來「ボイコツト」主唱者及督軍ノ干渉ヲ蒙ルコトナク其ノ繁榮ヲ回復スヘシ。

三、「デイーリー、テレグラフ」（六日）

日支協定遂ニ成立シタルヲ以テ兩國ハ更ニ圓卓會議ノ準備ヲ進ムルナラン。上海共同租界ノ保全、外國人生命財産ノ安全及右ニ對スル支那政府責任問題ハ日本ノ重大視スル處ナルモ、日支兩國ニシテ好意ヲ以テ之カ交渉ニ努力セハ滿足ナル解決ヲ得ルコト可能ナルヘシ。一方今回「ラムブソン」公使カ米、佛、伊各公使ト協力シ平和ノ回復ニ多大ノ貢獻ヲナシタルコトハ感謝スヘキ次第ニシテ何人モ平和ノ永續ヲ望ンテ止マス。

2

「タン」（六日）

上海休戰協定ノ內容ヲ點檢スルニ兩當事國カ協調的精神ヲ發揮セル跡歷然タリ。本協定成立ニ依リ上海事件カ事實上解決セラレタルハ凡ユル方面ヨリ觀テ慶賀ニ値ス。蓋シ首鼠兩端ノ舊態ニ立テタル聯盟總會ハ、今ヤ本件處理ノ如キ困難機微ナル任務ヨリ解放セラレタリ。又當初不充分ナル準備ノ下ニ上海ニ於テ警察行動ヲ起シ種々ノ誤算ヲ體驗セル日本カ、兎ニ角軍事上ノ權威ヲ保持スルニ足ル休戰協定ノ締結ニ誠意ヲ以テ當リタルハ聯盟ノ了解ニ難カラサル處ニシテ、日本ハ六日ヨリ撤收ヲ開始シ以テ更ニ其誠意ヲ示セリ。

惟フニ日本ハ目下上海ニ於ケル利益ヨリモ更ニ重大且密接ナル利益ニ留意セサル可カラサル立場ニアリ、內政的困難及滿洲問題之ナリ。而シテ日本政府ノ最大關心事ハ後者ナリトス。

希臘（書信電報）

上海休戰條約成立ノ報ニ關シ六日「ポリチヤ」ハ日支問題カ解決セル譯ニテモナク、又滿洲問題ニ及フモノニモアラサルモ、日本カ大膽ナル冒險ニ依リ惹起シタル結果ニ對シ徐々ニ縮少セントスル希望アルヲ示スモノナリト論シ、「プロイア」ハ日支紛爭ノ解決ヲ齎スモノニアラサルモ、若シ當事國ノ間ニ解決ヲ眞面目ニ求メントスルモノナラハ更ニ一歩ヲ進メタル平和解決ノ端緒タルヘシト論ス。

聯盟支那調査委員會ニ對スル情報供給問題

五日ノ莫斯科諸新聞ハ佛紙「プチ、パリジヤン」カ「書府來電トシテ聯盟事務局ヨリ「リトヴイノフ」ニ對シ、在滿露國領事ニ於テ聯盟支那調査委員會ニ情報供給方依賴シタル處、「リトヴイノフ」ハ同局宛之ニ應スルコト能ハサル旨ヲ回答セリ」ト報シ居ル旨ノ四月二十六日巴里發「タツス」電報ヲ揭クルト共ニ、本件ニ關シ「ドラモンド」及「リトヴイノフ」間ニ取交ハサレタル要旨左ノ如キ往復原文ヲ發表セリ。

(一)「ドラモンド」ハ四月二十日附「リトヴイノフ」宛書翰ヲ以テ「リットン」卿ヨリ在滿露國側公人ヨリ情報等ノ供給ヲ受クルニ於テハ同委員會ノ使命達成容易ト成ルヘキ旨ノ內報アリタルヲ以テ右ニ付露國側ノ援助ヲ求メタルモノニシテ、(二)「リトヴイノフ」ハ之ニ對シ、四月二十二日附書翰ヲ以テ露國政府トシテハ誠心誠意滿洲ノ事態ヲ極メ支那ニ於テ發生シ居ル軍事上

ノ紛爭ヲ實際ニ解決センコトスル如何ナル委員會ニ對シテモ援助ヲ與フルノ用意アルモ、聯盟ニ加入シ居ラサル露國政府ハ支那ニ於テ發生シ居ル事件ノ審査及聯盟支那調査委員會ノ行動ニ關與シ居ラス、又同委員會ニ代表者ヲ有セサルニ鑑ミ露國代表者ノ報告カ充分尊重サルヘシトノ保證ナク、從テ同委員會ノ爲ス局ノ求メニ應スルコト能ハスト回答セルモノナリ。

コトアルヘキ結論ニ對シ責任ヲ執ル能ハサルヲ以テ右聯盟事務

米國

一、「ニューヨーク、タイムス」（六日）

日支兩國ハ遂ニ停戰ニ署名セルカ上海事件ハ日本ニ取リ甚タ手際ノ惡キ而モ高價ナル仕事ナリキ。今ヤ一般ニ日本ノ目的ハ支那侵略ニ在リテ上海事件ノ如キハ楊子江征服ノ第一歩ニ過キスト觀ル者增加セハ、右ハ聊カ架空ノ說ナルモ斯カル說カ廣ク行ハルルトセハ日本ニハ不利ナリ、去リ乍ラ前記ノ如キ日本ノ道德的損失ハ支那ノ利得トナレリト言フ事ヲ得ス、卽チ折角ノ十九路軍ノ奮鬪モ却ツテ支那各派ノ內爭ヲ暴露シ同國ニ眞ノ國民精神ノ缺如セル事ヲ示セリ。

二、「ヘラルド、トリビューン」（六日）

所謂「フーヴアー、ドクトリン」ニ關スル「キヤツスル」ノ說明中ニハ種々賭ニ落チサル點アルモ、右說明ニ依リ米國民ハ初メテ斯ル新ナル消極的矯正方法ノ意義ヲ知レリ。

三、市俄古「デイーリー、ニュース」（六日）

上海停戰協定ハ平和回復ノ曙光ヲ認メタリト言フヨリモ寧ロ唯一息吐キタル迄ノコトナリ。支那人及外國人ニ對スル損害賠償ハ協定中ニ取扱ハレ居ラス、日本ハ滿洲ヲ支配スルノミナラス吳淞砲臺始メ楊子江ノ門戸ヲ扼シ、當分ノ間日本ハ優勢ナル地歩ヲ占ムヘシ。然レトモ其ノ內ニハ支那ニ新シキ勢力起リ悉ラク露國ノ後援ヲ得テ再ヒ排日政策ヲ實行スヘク、現ニ上海及滿洲ニ於テ漸々トシテ起ル最近ノ事件ハ此ノ傾向ヲ物語ルモノニシテ、日本ハ滿洲經營ニ努力シツツアルモ對支貿易ハ回復ノ徴候ナク、支那ハ依然トシテ排日貨政策ヲ捨テス。他方日本ハ財政難ニ苦シミ、露國トノ關係ハ日々不安ヲ加ヘ、米國其ノ他ノ列強ハ日本ニ對スル監視ヲ怠ラス、日本軍ニシテ若シ共同租界ニ於ケル外國ノ權利ヲ侵スコトアラハ列國トノ紛糾ハ避クルコトヲ得サル狀態ニ在リ。要スルニ未タ該協定ノ成立ヲ以テ事變解決セリト觀ルコトヲ得ス。

（六日）

四「クリスチヤン、サイエンス、モニター」
上海事件ハ米國ト聯盟ノ協調ノ不充分ナリシコトヲ證明セリ。將來國際問題處理ノ爲、右二者ハ愈々密接協調スルノ必要アリ。（五日）

五、紐育「イヴニング、ポスト」（五日）
上海交涉解決ハ日支双方ノ妥協ニ基ク現實主義的解決ニシテ、之ニ依リ日本ハ同地ニ於ケル悲劇的失策ヲ急速ニ終結シ、國際聯盟將來ノ干涉ヲ回避セントスル希望ヲ明カニシタルカ、事實上日本ハ上海ニ關心セス、一ニ滿洲支配ヲ目的トシ居ルモノニシテ聯盟ハ滿洲問題ノ解決ニハ日本ノ非妥協的反對ヲ期待セサル可カラス。

六、紐育「サン」（五日）
上海事件ハ日本ノ資力及威嚴ヲ損傷シ、軍部以外ノ政府當局ハ右解決ニモ余リ關係セス同事件カ如何ニ滿洲問題ニ影響スルヤヲ心配シ居ランモ、軍部ノミハ之等ノ問題ニ相變ラス無關心ナルヘシ。

七、「キヤツスル」國務次官ノ「スチムソン」聲明支持問題
四日華（府ニ於テ「キヤツスル」國務次官カ不戰條約補强ノ爲經

濟絶交手段ヲ用フルコトニ反對シ、一月七日「スチムソン」聲明ノ政策ヲ支持シタルニ對シ、

(イ) 紐育「サン」(六日)　極東問題ニ關シ米國ハ只自己ノ任務ヲ重ンシ、其ノ條約ヲ遵守シ且他國カ其ノ約束ヲ守ランコトヲ期待スルモノナリ。

(ロ) 紐育「イーヴニング、ポスト」ハ右「スチムソン」ノ政策ハ不戰條約ノ規定及精神ニ合致シ穩當ナルモノナリト雖、之レヲ現下ノ極東問題ニ適用センニ日本現在ノ對滿政策遂行ノ大勢ヨリ察スレハ日本カ滿洲國ヲ承認シ又ハ之レヲ併合シタル場合、米國ハ先ツ自己ノ利益擁護ノ爲之レヲ事實上承認シ、又結局其ノ意志ニ反シテモ之レヲ公式ニ承認セサルヲ得サルコトトナルヘク、事態ノ經過ハ世界輿論ノ如何ニ拘ラス日本ニ有利ナリ。故ニ右聲明ハ未タ戰爭ノ成果ヲ無效ニシ又不戰條約ニ威力ヲ加ヘタルモノト稱シ難シ。

在支外紙

六日ノ上海各英字新聞ハ何レモ停戰協定成立ニ關スル社說ヲ揭ケ居レルカ何レモ協定ノ各條項ノ說明ニ短カキ論評ヲ附シタルモノニシテ、日支兩國代表及中立國代表ノ努力ニ依リ困難ナル上海事件ノ解決ノ一歩ヲ踏ミ出シタルヲ喜ヒ、今後本協定カ忠實ニ實行セラレンコトヲ希望シ、重光公使及郭泰祺ノ負傷ニ對シ同情ヲ表シ居レリ。

各紙ハ一般ニ本協定ハ双方ノ讓歩ニ依リ成立セルモノナリトナシ居ル處、「チヤイナ、プレス」ハ本協定ニ依リ日本參謀本部ノ眞ノ目的タル「ボイコツト」抑壓、南京政府顚覆ノ野心ハ失敗ニ終レリト論シ、「イーヴニング、ポスト」紙上「ウツドヘツド」論文ハ本協定ヲ以テ全体トシテ何レカト問ヘハ日本ニ有利ナリトナシ居レリ。

東京支社 7.5.16 調査係

日支事變ニ關スル歐米新聞論調（一二七）

外務省情報部

五月十三日

支社長 大 7.5.16 調査係

目次

米國

一、「クリスチヤン、サイエンス、モニター」、、日支停戰協定中ノ特別事項ハ日本軍撤退地方ノ警察ノ任ニ當ルヘキ特別警備隊ノ任命ナリ。

二、同紙上「ウイリアム、アボット」氏ノ論文

三、市俄古「デイーリー、ニュース」、、日本ノ上海撤兵ハ露國トノ衝突ニ備ヘンカ爲ナリ。

米國

一、「クリスチヤン、サイエンス、モニター」（七日）

日支停戰協定ノ特別事項ト稱スヘキハ日本軍撤退地方警察ノ任ニ當ル特別警備隊ノ任命ニシテ、事件前中立國ノ干渉ヲ必要トシタル際若シ右ノ如キ措置採用セラレ、又列國カ中立地帶設定ノ任ニ當リ居リタランニハ多分日支間ノ平和ヲ促進スルカ少クトモ其ノ決裂ヲ延期シ得タルヘク、事茲ニ至リタルハ蓋シ事件前ニ於テ平和維持ノ爲列國ノ本國及現地ノ代表者カ交々努力シタルノミニテ責任ノ歸一スル所無カリシカ爲ニシテ、今回ハ現地外交主義カ成功シタル爲ナリ。

二、同紙上「アボツト」氏ノ論文（十一日）

在上海友人等ノ消息ニ依レハ日本軍ノ上海攻撃ニ關シ米國新聞及少數ノ英國新聞ハ大ニ憤慨シタルモ、上海在住英米人ハ寧ロ日本軍カ十九路軍ニ損害ヲ與ヘタルヲ大ニ多トシ、之ニ依リ從來支那人カ歐米ノ資本ニテ建設セラレタル上海租界回收ヲ計ラムトセル

危險ヲ排除シ得タリト認メ居ル趣ナリ。

次ニ日支交涉ノ難點ハ支那ニ確乎タル中央政府ノ存在セサルコトニアル處、最近南京政府ハ廣東、北平等支那各地ノ分立運動ヲ默視スルニ決定セル旨報道セラレタルカ、客年上海ニ會合セル太平洋問題調査會會員ノ多數モ右ノ如キ方策カ結局支那統治問題ノ解決點ナルヘキヲ確信シ居リタリ。

三、市俄古「デーリー、ニユース」(十二日)

最近市俄古諸新聞ハ日露ノ危機ヲ傳フル上海及東京電報ヲ頻リニ掲載シ居ル所、十二日市俄古「デーリー、ニユース」ハ左ノ論評ヲ爲セリ。

最近莫斯科政府ハ西比利亞ニ軍隊ヲ集中シ、日本ハ之ニ備ヘンカ爲滿洲ニ增兵シツツアリ。日本ノ上海撤兵ノ目的ハ支那ニ對シ穩和ナル態度ヲ示ス爲ヨリモ寧ロ露國トノ衝突ニ備ヘンカ爲ナリ。露國ハ五年計畫ニ急カシク戰爭ヲ欲セサルモ、日本ノ傀儡タル滿洲國政府ニ屈從シテ其滿洲ニ於ケル利益ヲ拋棄スルコ

トハ好マサル處ナルヲ以テ若シ露國ニシテ斷然抗日態度ニ出ツルカ又ハ日本カ滿洲國ヲシテ反露ノ態度ニ出テシムレハ必然日露ノ衝突トナリ、其場合露國ハ支那ノ援助及滿洲ニ於ケル反日分子ノ同情ヲ得ヘク、衝突ハ遂ニ局部的ニ止マルコトヲ得スシテ歐米諸國ハ機微ナル經濟及外交問題ニ直面スルコトトナル可シ。

日支事變ニ關スル歐米新聞論調（一二八）

外務省情報部
五月十六日

支社長 大 7.5.17 淵 庶務課長　調査係

目次

英國

一、「デーリー、ヘラルド」、、日本今次ノ上海撤兵ハ眞ノ撤兵ニアラスシテ滿洲ニ對スル新タナル進出ナリ。

二、「マンチェスター、ガーデイアン」、、日本ノ上海派兵ノ結果ハ只日支兩國民ノ反感ヲ從來以上ニ激成シタルニ過キス。

露國

「イズベスチヤ」、、、、、、羅外交部長ノ聲明ハ支那カ露國ニ對シ執レル非友好的態度ノ眞ノ理由ヲ隱蔽セントスルニアリ。

米國

一、費府「インクワイアラー」、上海協定成立シ問題ノ中心ハ滿洲ニ移レリ。

二、費府「パブリック、レツジヤー」、、上海協定ハ單ナル軍事協定ニ過キス。

三、華府「スター」、、、、、、日本カ停戰協定ニ誠意ヲ示シ陸軍全部ノ引揚ヲ命シタルハ喜フヘシ。

四、華府「ポスト」、、、、、、若シ日本ニ於ケル「フアシスト」ニシテ政權ヲ握ランカ日本ハ重大ナル變化ヲ來スヘシ。

五、「ブルツクリン、デーリー、イーグル」、、上海撤兵ニ關スル日本ノ說明ハ奉直ナル告白ニシテ今後日本政治家ハ其責任者タル軍閥ノ抑制ニ努力スルニ至ルヘシ。

六、紐育「タイムス」、、、、、日本ノ上海撤兵ハ上海事件ノ落着カ對支留易及滿洲防備ニ必要ナリト認メタル結果ナリ。今後ニ於ケル滿洲問題ハ日支ノ關係ニアラス日露ノ關係ナリ。

七、「ボルチモア、サン」、、、、上海派遣軍撤退ニ關スル日本外務省ノ說明ハ之ヲ嘲笑スヘカラス。日本ノ上海派遣軍撤收ニ關スル聲明ハ國際聯盟ノ隱忍政策ノ賜ナル事ト同時ニ世界輿論ニ對スル日本屈服ヲ意味ス。

香港

「モーニング、ポスト」、、、、日支停戰協定ニハ兩國間ニ秘密ニ屬スル或ル種ノ了解アルモノノ如シ。日本軍ノ上海撤退ニ依リ影響ヲ蒙ルハ廣東派ナリ。

濠洲

「シドニー、モーニング、ヘラルド」、日本ノ上海派遣軍撤退決定ニ依リ日支紛爭ノ最大難關ハ解決セラレタリ。

英國

一、「デーリー、ヘラルド」（十二日）

日本軍ハ上海ヨリ全部撤退ス可キモ其ノ一箇師團ハ滿洲ニ移動セラル可シトノ事ナリ。夫ハ東京中央軍部ニ於テ東三省ノ征服ヲ完成センカ爲ニハ上海ニ駐兵シ軍費ヲ浪費スル事能ハサルヲ悟リタルニ依ルモノナリ。日本ハ曩ニ壽府ニ於テ「サイモン」外相ノ努力ト俟チ奮鬪ノ揚句已ノ欲スル丈ケ上海ニ駐兵ス可キ權利ヲ得タルニ拘ハラス今直チニ撤退スル事ト爲セルハ皮肉ナリ。而モ今次ノ撤兵ハ眞ノ撤兵ニ非スシテ滿洲ニ對スル新タナル進出ナリ。

二、「マンチエスター、ガーデイアン」（十三日）

日本ノ上海撤兵決定ハ遲蒔乍ラ喜フ可ク、斯クシテ日支衝突ノ危險ハ除カレ上海事件其ノ物ノ解決モ可能トナル可シ。然レ共日本軍閥カ滿洲ニ於テ更ニ一層躍出ヲ爲サント欲シ居ル事ハ忖度スルニ難カラス。日本カ上海ニ無名ノ師ヲ送リ慘酷ナル破壞行爲ヲ爲シタル結果ハ只日支兩國民ノ反感ヲ從來以上ニ激成シタルニ過キス。

露國

「イズヴェスチヤ」（十三日）

南京政府外交部長羅文幹カ新聞記者ニ對シ、支那政府トシテハ露國トノ外交關係復活問題ヲ好意的ニ考慮シ居ルモ露國政府ノ態度不明ニシテ情報ニ依レハ日露關係甚シク惡化シ居ルトノ事ナルモ、他方露國政府ハ現在極東事件ニ對シ不干涉ノ態度ヲ保持シ居リ、五年計畫實行ノ爲日本トノ戰爭ヲ避ケントシ居レリトノ半官的報道アリ、又最近露國政府ハ露支會議ノ爲莫斯科ニアル支那代表ニ對シ冷淡ナル態度ヲ取リ、且支那ノ見地ヨリスレハ不合法ナル滿洲國ト接近ノ措置ニ出テツツアリトノ報道アリ、是等ノ事實ハ露支國交回復ノ途上ニ橫ル困難ナリトノ「インターヴユー」ヲ與ヘタル旨ノ七日南京發「タス」通信ヲ掲ケタル後是ニ短評ヲ加ヘ

羅文幹聲明ノ目的ハ南京カ露國政府ニ對シ取リ居ル非友好的態度ノ眞ノ理由ヲ世間ニ對シ隱蔽セントスルニアリ。羅ハ露國政府ニ於テ在莫斯科支那代表ニ對シ冷淡ナリト言フモ、莫德惠ハ

數月前獨逸ニ赴キ現在莫斯科ニハ支那代表部ナルモノ無キニ非スヤ。支那代表部ハ南京政府ノ命令ニ依リ存在ヲ停止セルモノナリ。次ニ露國カ滿洲國ト接近セントスル爲國交回復困難ナリトセハ、南京ハ先ツ日本トノ關係ヲ斷絶スヘキニ非スヤ。之ヲ要スルニ以上ハ表面ノ口實ニテ實ハ南京政府トシテハ某國ノ許可ヲ得サレハ露國トノ國交ヲ回復スル事能ハサルナリ。露支間國交關係無キハ亂暴ニモ是ヲ斷絶セル南京ノ罪ナリ。

米　國

一、費府「インクワイアラー」（七日）

上海平和協定遂ニ成立シ、問題ノ中心ハ滿洲ニ移リ「リットン」委員會ノ態度注目セラル。

二、費府「パブリック、レッジヤー」（十一日）

日本ニ於テ上海協定ニ就キ政府ト樞密院トノ間ニ問題起レルカ、協定「テキスト」ヲ見レハ政府ノ言フ通リ右ハ軍事協定ニ過キサル事明カナルカ如シ。

同　紙（十三日）

日本ノ上海派遣全兵力ノ撤退決定ハ上海派兵カ在留民保護ノ外他意無カリシ事ヲ示シ、世界ノ不人氣ヲ回復セントシタルモノナルヘキモ、右ノ目的ヲ達スル爲ニハ當ニ原狀回復ノミナラス進ンテ損害賠償ヲナスヲ要スヘシ。

三、華府「スター」（十一日）

日本カ停戰協定ニ誠意ヲ示シ陸軍全部ノ引揚ヲ命シタルハ喜フヘ

4

ク、南京政府ハ調印ト共ニ各都市ニ於ケル排日團体ノ彈壓ヲ訓令セリ。此際日貨排斥運動カ再燃スルカ如キ事アリテハ折角ノ平和協定モ無意味トナルヘシ。

四、華府「ポスト」(十三日)

日本「フアシスト」運動ハ增大シ居ルカ、若シ彼等カ政權ヲ握ルカ如キ事アラハ日本ハ重大ナル變化ヲ來シ、支那ニテ更ニ斷乎タル軍事行動ヲ取ルニ至ラン。

五、「ブルツクリン、デーリー、イーグル」(十三日)

日本ノ上海撤兵ニ關シ同政府ノ「スポークスマン」カ右ハ世界輿論ニ聽從シ、世界的ノ對日憎惡ヲ終止セシメムトスル希望ニ出ツル旨說明セルハ卒直ナル告白ニシテ、日本ハ嘗テ日淸戰爭當時旅順ノ慘殺問題ヲ惹起シテ世界的非難ヲ蒙リタルニ對シ北淸事變ノ際軍律ノ嚴正ヲ示シテ其ノ恥ヲ雪キタルカ如ク、今回モ上海附近ニ於ケル甚大ナル人命ノ損傷ヲ悔悟シ世界ノ感情ニ無關心ナラサルコトヲ示シタリ。日本ノ老政治家連ハ多分之ヨリ右事件ノ責任

者タル軍閥ノ抑制ニ努力スルニ至ルヘシ。

六、紐育「タイムス」（十四日）

日本ノ上海派遣陸軍引揚ノ理由ハ差當リ滿洲ニ兵力ヲ必要トスル外速ニ上海事件ノ落着ヲ計ル方對支貿易及滿洲防備ニ有力ナリト認メタルニ在リ。外務省ノ「スポークスマン」ハ急遽撤兵ニ決セルハ世界輿論ヲ尊重セル結果ナリト聲明セルカ、右ハ今後滿洲ニ於ケル日本ノ行動カ外國ヨリ多大ノ忌憚無キ批評ヲ招クニ相違無キ事ヲ認メタルモノナリ。滿洲ニ於ケル鐵道計畫等ニ鑑ミルモ日本活動ノ中心ハ北滿ニ移リ居ルヲ以テ日露關係ハ一層紛糾ス可キ運命ニアリ。近キ將來ニ於ケル滿洲問題ハ日支關係ニアラスシテ日露關係ナリ。

七、「ボルチモア、サン」（十四日）

日本外務省ハ陸兵引揚ヲ聲明スルニ當リ世界的不評判ヲ除ク爲ナリト說明セルカ、理由ハ夫レノミニ在ラスシテ陸兵派遣ノ高キモノニ付キタル事、外國ノミナラス國內ニ甚タ評判惡シキ事、滿洲ノ事

態カ遙ニ重大ナル事等ニモ依ル事疑無シト雖モ外務省ノ擧ケタル理由ハ之ヲ嘲笑ス可カラス、何トナレハ右ハ外交史上「ワールド、ワイド、オーデイアム」ナルモノカ政府ノ外交方針ヲ決定スル一要素トシテ擧クルノ價値アリト看做サレタル恐ラク最初ノモノナレハナリ。

右聲明ハ其本質又ハ目的ノ如何ニ拘ハラス「オーデイアム」ニ對スル大ナル貢獻ニシテ、今後各國政府ハ或行動ヲ中止スル場合素直ニ世界ノ評判甚タ悪キカ故ニ中止スト言ヒテ可ナリ。各國ヲシテ此ノ思想カ濟式外交及戰爭心理ニ懸ケテ如何ナル國ニモ劣ル事無カリシ日本政府ヨリ出テタルモノナル事ヲ思ハシメヨ。

八、桑港「クロニクル」（十四日）

日本ノ上海派遣軍撤收ニ關スル聲明ハ平和的壓力ニ依リ解決セシメントシタル聯盟ノ隱忍政策ノ賜ニシテ、世界輿論ニ對スル日本政府ノ屈服ヲ意味ス。卽チ軍部ハ反抗的言辭ヲ弄シ居ルモ外務省ノ「スポークスマン」ハ第三國ノ仲介ニ依ル解決方法ヲ承認シ居

レリ。

上海ニ就テハ日本軍カ閘北及虹口地方ニ與ヘタル損害ノ責任問題等今後解決ヲ要スルモノ多ク有リ、滿洲ニ就テハ問題全然未解決ニテ頗ル不評判ナリ。日本若シ世界輿論ニ從ハント欲セハ滿洲ヨリモ立退クヘシ。聯盟ハ上海ノ如キ小問題ノ解決ニ滿足スヘキニ非ス。兎ニ角輿論ノ力ハ武力ニ依ラストモ有效ナルコト證明セラレタリ。

香港

「モーニング、ポスト」（十二日）

吾人ハ日支停戰協定成立ノ際兩國間ニ公表セラレサル或種ノ了解アルヘシトノ印象ヲ得タルカ、斯クノ如ク速ニ日本カ自ラ權利ヲ棄テテ撤兵スルハ卽チ前記ノ了解ニ基クモノニ非サルカ。日本カ撤兵後支那軍ノ二十「キロメートル」内ニ立入ラサル事ヲ希望セルニ對シ、支那側ハ不平カマシキ事ヲ述ヘ居ルモ、支那代表ハ曩ニ日本ノ完全ナル卽時撤兵ヲ條件トシテ現狀維持ヲ主張セルモノニシテ、世界モ亦日本同樣支那側カ新事態ヲ亂スカ如キ事ナキヲ期待ス。

日本軍ノ上海撤退ハ滿洲ニ其兵力ヲ集中スル爲ナリト爲ス向キアルモ、第九師團カ內地ニ歸還セルニ見テ其ノ然ラサルヲ知ルヘク、又日本ハ上海ニ於ケル駐兵ノ非ヲ悟リタル爲ナリトセハ誠ニ慶賀スヘキコトナリ。日本ノ撤兵ニ依リ影響ヲ蒙レルハ廣東派ニシテ、其南京反對ノ理由ハ著シク減殺セラレ、却テ支那ノ統一ヲ害スルモノトシテ世界ノ同情ヲ失フヘシ。

濠洲

「シドニー、モーニング、ヘラルド」（十三日）

上海ヨリ即時無條件ニ撤兵スヘキ旨ノ日本政府ノ決定ニ依リ日支紛爭ノ最大難關解決セラレタリ。問題ノ中心ハ今ヤ再ヒ滿洲ニ移レル譯ナルカ、聯盟調査委員會ノ中間報告ニ依レハ滿洲ハ往時ノ無政府狀態ニ歸リ、五萬ニ達スル土匪ハ各地ニ割居シ居リ、往時支那本土カ擾亂ヲ極メタル際滿洲カ其ノ圈外ニ立チ居リタルニ比シテ正反對ノ事態ニ在リ。

東京支社
7.5.17
庶務課

訂。

本文二頁第十二行目「是ニ短評ヲ加ヘ」ヲ「左ノ通リ論評セリ」ト

正。

御訂正相成度シ。

日支事變ニ關スル歐米新聞論調（一二九）

外務省情報部

五月十八日

支社長
庶務課長
調査係

目次

米國

紐育「タイムス」東京特電

露國

「イズベスチヤ」紙上「カールヽラデツク」氏ノ論評

米國

紐育「タイムス」東京特電

十四日ノ紐育「タイムス」ハ『日本上海ノ「ステータス」ヲ定ムルノ措置ニ出ツ』トノ見出ノ下ニ左ノ如キ特電ヲ掲載シ相當注意ヲ引キタリ。

東京日日ニ依レハ芳澤外相ハ十三日英、米、佛、伊四國代表者ヲ招致セル際、來ルヘキ上海圓卓會議ノ準備トシテ東京ニ於テ五國ニノミ關係アル事項ニ付意見ノ交換ヲ行フコトヲ四國政府ヘ提議シタルカ、外相ノ目的ハ武力干渉ノ危險ヲ除去シ上海將來ノ安全ヲ計ラントスルニ在リタリ云々。

「イズベスチヤ」紙上「カール、ラデツク」氏ノ論評

十五日ノ「イズウエスチヤ」ハ其外交主筆「カール、ラーデツク」氏ノ日露關係ニ關スル論説ヲ掲ケタルカ、其要旨左ノ如シ

田中大使ノ「インタヴイユウ」ハ多クノ點ヨリ注意ニ値ス。同大使ハ滿洲ニハ尚增兵ノ必要アリトノ意見ナルカ、右ハ土肥原將軍カ滿洲ノ事態安定スル迄ハ少クトモ十年ヲ要スト云ヒタルト同樣、日本ノ某方面ニ於テハ滿洲ノ征服カ爾ク容易ナラサルコトヲ自覺シ來レルコトヲ證スト同時ニ露國ニ對スル關係ニ於テモ其ノ考ヘ方ヲ新ニシ來レルコトヲ示スモノナリ。田中氏ノ對露意見ハ極メテ穩當ナルモ、日本ヲ支配シ居ル方面カ之ト同意見ニナリタリト云フ能ハス。田中氏ノ「インタヴイユウ」ニ關聯シ新聞紙上幾多賢明ナル意見ヲ發表シタルモノアルモ、之ト同時ニ公ノ方面ノ「インスパイヤー」ヲ受ケ事態ヲ正解セサル論説ノ掲ケラレタルヲ見ル。日露兩國ハ既ニ「ケログ」條約

ヲ締結シ居ル以上不侵略條約ヲ締結スル必要ナシト云フモノアルモ、支那ハ「ケログ」條約ニ參加シ居ルニ拘ハラス全世界ヲ不安ニ陷ラシメ居ル紛爭發生シタルニアラスヤ。日本ハ果シテ極東ニ於ケル事態ノ紛糾セル今日、露國トノ關係ニ於テ有ラユル係爭問題ヲ平和的手段ニ依リテ解決スル具体的義務ヲ負フノ意思アリヤ。今ヤ報知新聞ノ如キハ先ツ漁業ニ關スル係爭問題ヲ解決シ、然ル後政治問題ノ解決ニ入ルヘキナリト云フモ、地ノ中テ魚ヲ捕ヘントスルニアラスンハ不侵略條約ノ締結カ漁業問題ノ解決ニ何ノ支障アリヤ。斯ル條約ヲ結ンテ平和ノ雰圍氣ヲ醸成シテコソ兩國間ニ起ルコトアルヘキ有ラユル紛爭ノ解決容易トナルモノナリ。又報知新聞ハ露國軍隊ノ國境集中ノ問題ハ若シ露國ニシテ極東ニ送レル軍隊ヲ引揚クレハ容易ニ解決スル問題ニシテ日露間ノ重要政治問題トハナラスト云ヘルカ、之ノ的外レノ議論ニシテ問題ノ根本ハ、日本軍隊カ滿洲ニ侵入シ、露國國境ニ移動シ東支ニ於ケル露國ノ經濟上ノ利益ヲ尊重セサ

ルコト及白黨カ日本軍ノ保護ノ下ニ東支ニ對シ絶エス損害ヲ與ヘ露國トノ紛爭ヲ挑發セントスルニアリ。且日本政府ハ今ニ不侵略條約ニ關スル露國政府ノ提議ニ對シ囘答ヲ與ヘサルナリ。之等ノ點コソ問題トナスヘキニシテ露國領土内ニ於ケル露軍ノ移動ノ如キハ問題トナスヘキ筋合ニアラス。日本外務省カ日露間ノ友好關係ヲ維持スルコトヲ必要トシ、兩國間殊ニ北滿ノ事態ニ關聯シ誤解アルヲ遺憾トシ、可成ク速ニ此ノ誤解ヲ除キ一層良好ナル關係ヲ設定スルヲ希望スル旨ノ新聞報道ハ之ヲ歡迎スヘキモ、日本外務省カ前記ノ如キ良好ナル關係カ單ナル文書ノ交渉ニ依リテ達シ得ヘシトナスハ當ラスト云ヘル旨ノ新聞報道ニシテ若シ事實ナリトセハ之レ誤レル意見ナリ。日本政府ハ滿洲及上海ニ於ケル行動ヲ以テ支那カ條約ヲ尊重セサル結果ナリト說明ス。斯ノ如ク日本ハ自分ニ都合良キトキハ條約ヲ以テ單ナル紙片ト認メサルニ非ラスヤ。日本新聞紙上ニ於ケル討論ハ日本ニ於テ一種ノ覺醒萌シ、日露間紛爭ノ原因ヲ除カントスル方法カ探求セラレツツアリトノ

印象ヲ與フ。右ハ果シテ外交方面ノミノ氣持ナリヤ。之ニ對スル軍部ノ考ヘ等ハ不明ナルモ、之ト注意ニ値シ且歡迎スヘキコトナリ。日露關係ノ紛糾ヲ除ク爲ニハ相互ノ理解ヲ齎ラシ有ラユル係爭問題ノ平和的解決ヲ容易ニスル不侵略條約ヲ締結スルコト必要ニシテ其時機夙ニ到來シ居レリ。

日支事變ニ關スル歐米新聞論調（一三〇）

支社長
庶務課長
調査係

外務省情報部
五月二十日

目次

英國
一、倫敦「タイムス」、、、、、滿洲國ニ於ケル日本人官吏ハ遂ニハ其一般政策ヲモ左右スルニ至ルヘシ然レ共日本ニ滿洲併合ノ計畫アリト爲スハ誤リナリ。又日露ノ衝突ハ想像ニ難カラス、日本軍ノ上海撤退ハ滿洲事態ノ緊急ニ基ク。
二、「マンチエスター」、若シ日露兩國衝突センカ亞細亞、西歐兩民族ノ爭闘及共產主義對資本主義ノ爭闘トナリ重大ナル事態ヲ誘起スヘシ。
三、「デーリー、ニュース、エンド、クロニクル」、露國ハ滿洲ニ戰爭ノ勃發ヲ希望シ居ルヲ以テ結局日露兩國ノ衝突ハ之ヲ阻止シ得サルヘシ。

英國

一、倫敦「タイムス」（十七日）

日本陸海軍ハ憲法上政府其ノモノト別個ノ存在ナルカ故ニ、日本政府カ花谷少佐記述（註ー雜誌「ダイヤモンド」所載論文ヲ指ス）ノ如キ計畫ニ直接關係シ居レリトハ思ハサルモ、斯ル計畫ニ對シ一般的指示ヲ與ヘ居レル事疑ナシ。然レ共日本全國民カ右ノ如キ大規模ノ西方發展ヲ果シテ希望シ居レリヤ否ヤハ是カ判斷ノ途ナシ。國家社會主義者ノ最近ノ暴行ハ其反動トシテ穩健分子ノ擡頭ニ機會ヲ與フルニ至ルナランモ、目下穩健論者ハ脅迫ニ依リ沈默ヲ守ルヘク餘儀ナクセラレ居ル狀態ニテ、右國家社會主義運動ハ多クノ點ニ於テ獨逸ノ「ヒツトラー」主義ニ類似シ、既ニ軍隊ニ侵入シ殊ニ青年將校ノ間ニ力ヲ占メ居リ、彼等ハ「デモクラシー」ヨリ離レ皇軍中心主義ノ新社會ヲ出現セシメタル上陸軍ノ勢力下ニ新政治ヲ行ハント希望シ、亞細亞大陸中日本ニ隣接セル地方ニ對シ實際上ノ保護政治ヲ布カント欲シ居レリ。而シテ滿洲國ハ未

／

タ自立能力無キカ故ニ同政府ノ首要部分ヲ占ムヘキ日本人官吏ハ
軈テ財政及人事ニ關シ完全ナル支配權ヲ握ルニ至リ遂ニハ其一般
政策ヲモ左右スルニ至ルヘシ。然レ共日本ノ企圖ハ滿洲ニ有力ナ
ル政府ヲ樹立セントスルニ過キサルヲ以テ。日本カ滿洲併呑ヲ計
畫シ居レリト豫斷スルハ誤ナルヘク。日本カ滿洲ニ於テ他ヨリ障
碍ヲ蒙ルコトナク其ノ天然資源ヲ開發セント欲スルコトハ正當ナ
ル要求ナリト雖。滿洲ハ日支兩國ニトリ等シク重要ナル鑛產物貯
藏所ナルカ故ニ吾人ハ「リツトン」調查團カ同地天然資源開拓上
日支兩國ノ共ニ滿足スヘキ辨法ヲ勸告スヘキコトヲ希望ス。一方
滿洲ニ於ケル匪賊ハ約四萬ニ達シ居リ。馬占山ハ訓練アル其ノ手
兵ヲ率ヒ東支鐵道北部ニ其ノ暴威ヲ振ヒ居レリ。而シテ日本軍ハ
之ヲ擊退セント努力シ居レルヲ以テ遲カレ早カレ日露間ニ衝突ア
ルコト想像ニ難カラスト言フヘク。日本軍ノ上海撤退ハ滿洲事變
ノ緊急ニ基クモノナリ。

三、「マンチエスター、ガーデイアン」(十七日)

日本ノ經濟的進步ハ驚クヘキモノアリタルモ。其ノ政治組織ハ之

ニ伴ハス未タ封建時代其ノモノナリ。卽チ憲法政治ヲ採用シタリトハ言ヘ政權ハ世襲貴族ノ手ニ委ネラレ。之等貴族ハ陸海軍ヲ支配スルコトニ依リ其ノ權力ヲ維持シ居レリ。故ニ日本政府ノ政策ハ內政ニ於テ常ニ反動的トナリ。外交ニ於テ強烈ナル國民主義トナリテ現ハレ來レリ。現今日露ノ關係ヲ觀ルニ露國ハ大規模ナル經濟的改善及發展ヲ企圖シ居リ。日本ハ露西亞鐵道組織ノ重要連鎖ヲ爲セル東支鐵道占領ノ計畫ヲ爲シ居レリ。日露兩國衝突ノ可能生頻リニ噂セラレ居リ。若シ此ノ形勢ニシテ爆發センカ亞細亞。西歐兩民族ノ爭鬪及共產主義對資本主義ノ爭鬪トナリ重大ナル形勢ヲ誘起スヘシ。

三、「デーリー。ニユース。エンド。クロニクル」（十六日）

日本ニ於テハ過去長年文武兩黨極端ニ爭ヒ居リシカ平和主義勢力ヲ占メ來レリ。故ニ革命勃發スルコトアルモ其ハ必スシモ軍人ノ革命ヲ意味セサル形勢ニアリタリ。然ルニ滿洲事件後同方面ノ狀況ハ益々暗澹トナリ。露國ハ寧ロ滿洲ニ戰爭ノ起ランコトヲ希望シ居レルカ故ニ。其結果ハ遂ニ日露ノ衝突トナリテ現ハルヘク。而モ兩國政府ハ之ヲ阻止シ得サルニ至ルヘシ。

シセ075